



▲式典に出席した兵庫県下12町長

もうすぐ本格的な冬がやってきます。今年は春、夏、秋とそれぞれの季節を十分に楽しむこともなく、コロナ禍に明け暮れた一年だったと感じている方も多いのではないのでしょうか。自然災害ではない災害が、人々の生活に与える影響の大きさに、改めて気付かされたことも多くありました。行政としても、ウイズコロナの住民生活にどう対応していくかが、大きな課題となっています。

◆春先から多くの行事やイベント、大会などが中止、延期となっておりますが、秋の恒例行事である「播磨町菊花展」も今年は開催が危ぶまれる中、天候に恵まれ、例年通り庁舎前を美しく彩っていただきました。菊は咲かせるまでに長い期間を必要とし、開花時期も調整しながら、「菊花展」に臨むということで出展者の皆さまのご苦労は例年以上のものがあつたと思われれます。そうした中で、多くの作品をお出しいただき、ありがとうございました。これからも菊づくりにご精励いただき、日本の秋の風物詩「菊花展」を末永く続けていっていただきたいと願っています。

◆兵庫県町村会が今年100周年を迎えました。10月14日に神戸で式典が行われましたが、コロナ禍に配慮して、大幅に規模を縮小しての開催となりました。平成の大合併以前は県下で70以上の町が存在していましたが、合併が進み、現在は12町となっています。播磨町は県下で最後の村でしたが、昭和37年に町政を施行し、現在60年近い歴史を歩んでいます。幸いにも町の人口は微増しており、これからも町村会の一員として、他の町とともに発展していくことができればと思っています。

播磨町長 清水ひろ子

# トピックス まちのわだい

## 県内産の食材「神戸ビーフ」の学校給食

教育総務グループ・学校教育グループ ☎079(435)0545

10月21日、播磨町内小中学校の給食に神戸ビーフを使った牛丼が提供されました。

これは、子どもたちに県内産の食材のおいしさや魅力を伝えることを目的とした兵庫県の県産和牛肉学校給食提供事業の取り組みです。兵庫県で生まれ育てられた但馬牛と、その中から厳しい審査を通して認定された神戸ビーフについて、資料や映像を見ながら学習しました。「いただきます!」のあいさつの後、子どもたちは楽しみにしていた牛丼を口いっぱいほおぼって味わいました。「やわらかくておいしい」「いっぱい食べた!」と兵庫県ブランドのおいしさやすばらしさを実感した給食の時間でした。



▲おいしくいただきました

**楽屋裏**  
今月の広報はりまp23、p45に自治会アンケートと、まちづくりアドバイザーの佐伯さんへのインタビューを載せました。あなたが普段感じていること、まちづくりとは、「どうにかならないかな」と思うことが「いい感じ」に変わるための行動の積み重ねだと思えます。「いい感じ」が増えてくると「住みやすいまち」になるのです。播磨町に住みやすいまちになるといいなと思います。(宮)

## わんぱくはりまっこ



いしほし さき  
石橋 咲季ちゃん  
(西野添)

いつも笑顔いっぱい。兄妹仲良く元気に育ってね。  
(パパ・ママより)

※撮影時の年齢です。

## 播磨南高等学校と「福祉避難所の指定に関する協定」を締結しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

播磨町は、令和2年10月15日、兵庫県立播磨南高等学校と「福祉避難所の指定に関する協定」を締結しました。

この協定は、兵庫県立播磨南高等学校の同窓会館で、シャワー・トイレなどを備えた「潮風会館」を、災害時の避難生活に特別の配慮を要する人が避難するための福祉避難所として指定する協定です。



▲協定を締結しました

## 保育所で交通安全教室を実施しました

危機管理グループ ☎079(435)0991

10月から11月にかけて、町内の保育園、幼稚園、こども園で交通安全教室を実施しました。加古川警察署の警察官から道路の渡り方を教わった子どもたちは、さっそく園庭に用意された信号機と横断歩道の前で実践をしました。



▲上手に横断歩道を渡りました

信号が青になってから、右、左、右をよく見て、車が来ていないことを確認して、しっかりと手を挙げて、横断歩道を渡りました。

## キャンパスだより

### わくわくオーケストラ教室 2020

播磨中学校1年

播磨中学校1年生は、本格的なオーケストラの演奏を聴きに、西宮市にある県立芸術文化センターへ。兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)メンバーが順次登場し、オーボエの「ラ」の音に合わせてそれぞれの楽器が音合わせを終ると、指揮者が登場。この日は、岩村力さんがタクトを振る。本物のオーケストラの生演奏に感動が止まらない。アンコールの拍手の後、指揮者の岩村さんが「手拍子で参加してください」と会場に呼び掛けて、ヨハン・シュトラウス1世の「ラデツキー行進曲」を演奏。

岩村さんの指揮の身振りの大きさと手拍子の音を大きくしたり小さくしたり、会場が一体となって温かいムードに包まれ、約75分間の「わくわくオーケストラ教室」が終わった。



▲オーケストラの演奏に感動

右のクーポン券を、キリトリ線に沿って切り取り、お店にお持ちください。

毎月届くクーポン券で、いろいろなお店を利用して、町内のお店を応援してください。

## 播磨町くらし・お店応援クーポン券

# 見本

本クーポンは、1,000円以上の買い物やサービスで1回利用できます。